

(様式第10号) (第53条、第54条の2、第55条関係)

施工状況等報告書

平成29年10月31日

長野県知事 阿部 守一 殿  
松本市長 菅谷 昭 殿  
山形村村長 本庄 利昭 殿  
朝日村村長 中村 武雄 殿

住 所 東京都千代田区内幸町1丁目1番3号  
氏 名 東京電力パワーグリッド株式会社  
代表取締役社長 金子 禎則  
〔法人にあつては、主たる事務所の  
所在地、名称及び代表者の氏名〕

長野県環境影響評価条例第32条第1項の規定により、下記のとおり送付します。

記

対 象 事 業 の 名 称	飛驒信濃直流幹線新設工事事業
報 告 対 象 期 間	平成29年 7月 1日から 平成29年 9月30日まで
環境の保全のための措置の状況	詳細は別紙添付資料の通り
対 象 事 業 の 実 施 状 況	鉄塔敷地及び工事用地内の伐採工事及び仮設工事、資機材運搬のための道路工事及びモノレールの仮設工事を実施中である。

(備考) 必要に応じ、環境の保全のための措置の状況又は対象事業の実施状況に係る図面又は写真を添付すること。

## 施工状況等報告書添付資料「環境保全措置実施状況一覧表」

期間：平成 29 年 7 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日

環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類
植物	イチ ヨウ ウ ラン	移 植	7月22日に対象事業実施区域内に生育する11個体について、既存の生育環境と同様な生育適地へ移植した。	写真イチ -1~3
			9月5日に対象事業実施区域内に生育する43個体について、既存の生育環境と同様な生育適地へ移植した。	
			9月28日に対象事業実施区域内に生育する3個体について、既存の生育環境と同様な生育適地へ移植した。	
	ボ タ ン 属 の 一 種	移 植	7月22日に対象事業実施区域内に生育する8個体について、既存の生育環境と同様な生育適地へ移植した。 (ヤマシャクヤクもしくはベニバナヤマシャクヤクいずれかの種であるが、同定に必要な花をつけていなかった。)	写真ボタ -1~3
			マ キ ノ ス ミ レ	移 植
	8月25日に対象事業実施区域内に生育する17個体について、既存の生育環境と同様な生育適地へ移植した。			
	9月7日に対象事業実施区域内に生育する84個体について、既存の生育環境と同様な生育適地へ移植した。			
	9月8日に対象事業実施区域内に生育する74個体について、既存の生育環境と同様な生育適地へ移植した。			
	マ ー キ ン グ	マ ー キ ン グ	7月24日に対象事業実施区域付近に生育する個体について、踏圧防止を目的としたマーキングを実施した。	写真マキ -4,5
			9月7日に対象事業実施区域付近に生育する個体について、踏圧防止を目的としたマーキングを実施した。	
	キ ョ ウ マ ル シ ャ ク ナ ゲ	穂 木 採 取 及 び 挿 し 木 等	9月27日に2回目の穂木採取と播種用の蒴果採取を実施した。 ・持ち帰った28本の穂木のうち、8本はアカボシシャクナゲに接ぎ木施術を行い、20本は挿し木として栽培地に植えた。 ・持ち帰った蒴果は来年播種予定である。	写真キョ -1~4
			9月30日現在、栽培地での活着状況は以下のとおりである。 ・接ぎ木の活着率は59.2% (49本中29本生育) で、やや不安定である。 ・挿し木の活着率は70.7% (82本中58本生育) で、地際の茎から発根がみられた挿し木の活着率が特に高かった。	写真キョ -5,6
サ サ ユ リ	移 植	7月23日に対象事業実施区域内に生育する7個体について、既存の生育環境と同様な生育適地へ移植した。	写真ササ -1~3	
		7月25日に対象事業実施区域内に生育する1個体について、既存の生育環境と同様な生育適地へ移植した。		
		9月5日に対象事業実施区域内に生育する5個体について、既存の生育環境と同様な生育適地へ移植した。		
		9月6日に対象事業実施区域内に生育する3個体について、既存の生育環境と同様な生育適地へ移植した。		
		9月29日に対象事業実施区域内に生育する4個体について、既存の生育環境と同様な生育適地へ移植した。		

植物	ササユリ	マーキング	7月26日に対象事業実施区域付近に生育する個体について、踏圧防止を目的としたマーキングを実施した。	写真ササ -4,5
	シリラン アリドオ	移植	9月28日に対象事業実施区域内に生育する2個体について、既存の生育環境と同様な生育適地へ移植した。	写真アリ -1~3
	クロ ヒトツボ	移植	7月24日に対象事業実施区域内に生育する8個体について、既存の生育環境と同様な生育適地へ移植した。	写真ヒト -1~3
			8月25日に対象事業実施区域内に生育する1個体について、既存の生育環境と同様な生育適地へ移植した。	
	ナガミノツル キケマン	マーキング	9月7日に対象事業実施区域付近に生育する個体について、踏圧防止を目的としたマーキングを実施した。	写真ナガ -1,2
フトボナギ ナタコウジュ	移植	7月26日に対象事業実施区域内に生育する29個体について、既存の生育環境と同様な生育適地へ移植した。	写真フト -1~3	
		9月29日に対象事業実施区域内に生育する15個体について、既存の生育環境と同様な生育適地へ移植した。		
動物・生態系	猛禽類全般	環境保全措置 の検討	7月11日に有識者へ中間結果を踏まえた追加の保全措置について説明し、以下のご意見等をいただいた。 ・クマタカが繁殖年か非繁殖年かによって保全措置を変更する場合、その判断時期については慎重に検討する必要がある。 クマタカの繁殖は何らかの要因によって通常よりも1ヶ月程度遅れる場合があり、一般的な抱卵の時期よりもあとの孵化し始める時期(5月頃)に判断するのが妥当である。	-
	Aつがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏 等を把握する調査	7月22日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・営巣可能性が考えられた場所において巣は特定されなかった。	-
			8月29~31日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計9回出現し、つがいが確認された。	写真クマA -1,2
Dつがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏 等を把握する調査	8月29~31日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計17回出現し、つがいが出現したほか、昨年生まれの幼鳥が確認された。	写真クマD -1,2	

動物・生態系

動物・生態系	Eつがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏 等を把握する調査	7月21日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・餌運びが確認された尾根付近で繁殖巣を特定した。 ・巣内では雛1個体が確認された。	写真クマE-1
			8月29～31日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計26回出現し、つがいが出現したほか、営巣地周辺で巣立ち幼鳥の飛翔が確認された。	写真クマE-2
	Fつがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏 等を把握する調査	7月22日に繁殖状況を把握するための観察を実施した。 ・巣外に枝移りする幼鳥が確認された。	写真クマF-1
			8月29～31日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計15回出現し、つがいが出現したほか、営巣地周辺で巣立ち幼鳥の飛翔が確認された。	写真クマF-2,3
	Gつがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏 等を把握する調査	7月21日に繁殖状況を把握するための観察を実施した。 ・巣内で雛1個体が確認された。	写真クマG-1
			8月26～28日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計12回出現し、餌運搬が確認されたほか、営巣地周辺で巣立ち幼鳥の鳴き声が確認された。	写真クマG-2
	Hつがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏 等を把握する調査	8月26～28日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計5回出現した。本年のHつがいの繁殖は途中で失敗していることから、確認回数は少なかった。	—
	Aつがい オオタカ	繁殖状況及び行動圏 等を把握する調査	7月4日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・営巣可能性が考えられた場所において巣は特定されなかった。	—
			7月19～20日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・オオタカは確認されなかった。	—
	Bつがい オオタカ	繁殖状況及び行動圏 等を把握する調査	7月4日に繁殖状況を把握するための観察を実施した。 ・巣内で雛3個体が確認された。	写真オオB-1
			7月21～22日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計4回出現し、営巣地周辺で巣立ち幼鳥2個体の飛翔が確認された。	—

動物	Dつがい オオタカ	繁殖状況及び行動圏 等を把握する調査	7月5日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・営巣可能性が考えられた場所において巣は特定されなかった。	—
			7月19～20日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計7回出現したが、いずれも北側に隣接する調査対象外のつがいであった。	—
	ハチクマ	繁殖状況及び行動圏 等を把握する調査	7月17～18日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計8回出現し、餌運びが1例確認されたが、北側の調査対象地域外へ向かうものであった。	写真ハチ -1,2
			8月9～10日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計26回出現し、複数のオスの飛翔が広範囲に確認された。 ・幼鳥の飛翔が1例確認されたが、かなりの広範囲を飛翔しており、巣立ち後、移動分散中の個体と考えられた。	—
	ツミ	繁殖を示唆する 行動等の確認	上記、クマタカ・オオタカ・ハチクマの調査の中で確認調査を実施した。 ・合計1回のみ出現し、繁殖を示唆する行動等は確認されなかった。	—
ハイタカ	繁殖を示唆する 行動等の確認	上記、クマタカ・オオタカ・ハチクマの調査の中で確認調査を実施した。 ・合計1回のみ出現し、繁殖を示唆する行動等は確認されなかった。	—	
動物・生態系	本州中部亜種 ゴマシジミ	奈川のゴマシジミ 生息地の保全	7月3日に有識者へゴマシジミの寄主アリであるハラクシケアリの調査結果の報告と保全措置の内容説明を行い、以下のご意見等をいただいた。 ・保全措置として実施するワレモコウの移植時期（8月）は、成虫の発生期であり、ゴマシジミの幼虫とワレモコウの関係が最も希薄な時期であることから、適した時期であると言える。逆に9月になるとゴマシジミの幼虫がワレモコウから降りる時期であり、この時期に移植で攪乱するのは最も良くない。 ・ハラクシケアリの巣の移植には、女王の存在が重要である。直接女王がいるかどうか確認しながら行うか、巣を大きめに掘り取って移すのが良い。	—
			7月30～31日及び8月14～15日にゴマシジミの個体数及びワレモコウの株数の確認調査を実施した。 ・ゴマシジミは、対象事業実施区域周辺では、G3で最大1個体が確認され、G1では確認されなかった。一方、対象区G4では最大4個体が確認された。 ・ワレモコウは、対象事業実施区域周辺では、G1で40株、G3で1,024株が確認され、対象区G4では229株が確認された。	写真ゴマ -1,2
			8月28～29日及び9月5日に事業の影響を受けるワレモコウ約500株及びハラクシケアリの巣6箇所の移植を実施した。	写真ゴマ -3～6
			9月11日に有識者に現地で保全措置の実施状況を確認いただき、以下のご意見等をいただいた。 ・実施状況については良い。今後この環境が維持できるとさらに良い。	—

動物	ヒヨウモンチョウ 本州中部亜種	個体数の確認	<p>7月30～31日及び8月14～15日にヒヨウモンチョウの確認調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象事業実施区域周辺では、G1で1個体が確認され、G3及び対象区のG4では確認されなかった。</li> </ul>	写真ヒョ ー1
----	--------------------	--------	--	------------

## 環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	イチヨウラン
	写 真 番 号	イチー1
	撮影日	平成 29 年 7 月 22 日
	移植前の確認状況	
	保 全 対象種	イチヨウラン
	写 真 番 号	イチー2
	撮影日	平成 29 年 7 月 22 日
	移植作業の状況	
	保 全 対象種	イチヨウラン
	写 真 番 号	イチー3
	撮影日	平成 29 年 7 月 22 日
	移植完了後の状況	



保 全  
対象種 ボタン属の一種

写 真  
番 号 ボター1

撮影日 平成 29 年 7 月 22 日

移植前の確認状況



保 全  
対象種 ボタン属の一種

写 真  
番 号 ボター2

撮影日 平成 29 年 7 月 22 日

移植作業の状況



保 全  
対象種 ボタン属の一種

写 真  
番 号 ボター3

撮影日 平成 29 年 7 月 22 日

移植完了後の状況



	保 全 対象種	マキノスミレ
	写 真 番 号	マキ-1
	撮影日	平成 29 年 7 月 24 日
	移植前の確認状況	
	保 全 対象種	マキノスミレ
	写 真 番 号	マキ-2
	撮影日	平成 29 年 7 月 24 日
	移植作業の状況	
	保 全 対象種	マキノスミレ
	写 真 番 号	マキ-3
	撮影日	平成 29 年 7 月 24 日
	移植完了後の状況	



保 全 対象種	マキノスミレ
------------	--------

写 真 番 号	マキ-4
------------	------

撮影日	平成 29 年 7 月 24 日
-----	------------------

対象事業実施区域付近に生育する  
個体



保 全 対象種	マキノスミレ
------------	--------

写 真 番 号	マキ-5
------------	------

撮影日	平成 29 年 7 月 24 日
-----	------------------

マーキング設置状況



保 全 対象種	キョウマルシヤクナゲ
------------	------------

写 真 番 号	キョ-1
------------	------

撮影日	平成 29 年 9 月 27 日
-----	------------------

採取した穂木



保 全  
対象種 キョウマルシヤクナゲ

写 真  
番 号 キョー2

撮影日 平成 29 年 9 月 27 日

採取した蒴果

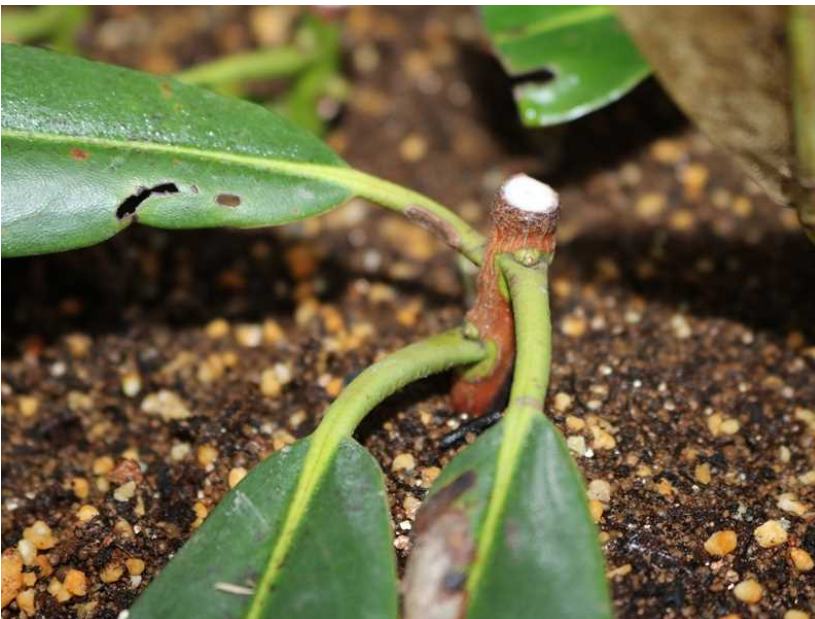


保 全  
対象種 キョウマルシヤクナゲ

写 真  
番 号 キョー3

撮影日 平成 29 年 9 月 28 日

接ぎ木施術の状況



保 全  
対象種 キョウマルシヤクナゲ

写 真  
番 号 キョー4

撮影日 平成 29 年 9 月 28 日

挿し木処置の状況



保 全 対象種	キョウマルシヤクナゲ
------------	------------

写 真 番 号	キョー5
------------	------

撮影日	平成 29 年 9 月 30 日
-----	------------------

接ぎ木栽培の生育状況



保 全 対象種	キョウマルシヤクナゲ
------------	------------

写 真 番 号	キョー6
------------	------

撮影日	平成 29 年 9 月 30 日
-----	------------------

挿し木栽培の生育状況




保 全 対象種	ササユリ
------------	------

写 真 番 号	ササー1
------------	------

撮影日	平成 29 年 7 月 25 日
-----	------------------

移植前の確認状況

	保 全 対象種	ササユリ
	写 真 番 号	ササ-2
	撮影日	平成 29 年 7 月 25 日
	移植作業の状況	
	保 全 対象種	ササユリ
	写 真 番 号	ササ-3
	撮影日	平成 29 年 7 月 25 日
	移植完了後の状況	
	保 全 対象種	ササユリ
	写 真 番 号	ササ-4
	撮影日	平成 29 年 7 月 26 日
	対象事業実施区域付近に生育する 個体	

	保 全 対象種	ササユリ
	写 真 番 号	ササ-5
	撮影日	平成 29 年 7 月 26 日
マーキング設置状況		
	保 全 対象種	アリドオシラン
	写 真 番 号	アリー-1
	撮影日	平成 29 年 9 月 28 日
移植前の確認状況		
	保 全 対象種	アリドオシラン
	写 真 番 号	アリー-2
	撮影日	平成 29 年 9 月 28 日
移植作業の状況		



保 全 対象種	アリドオシラン
写 真 番 号	アリ-3
撮影日	平成 29 年 9 月 28 日

移植完了後の状況



保 全 対象種	ヒトツボクロ
写 真 番 号	ヒト-1
撮影日	平成 29 年 7 月 24 日

移植前の確認状況



保 全 対象種	ヒトツボクロ
写 真 番 号	ヒト-2
撮影日	平成 29 年 7 月 24 日

移植作業の状況



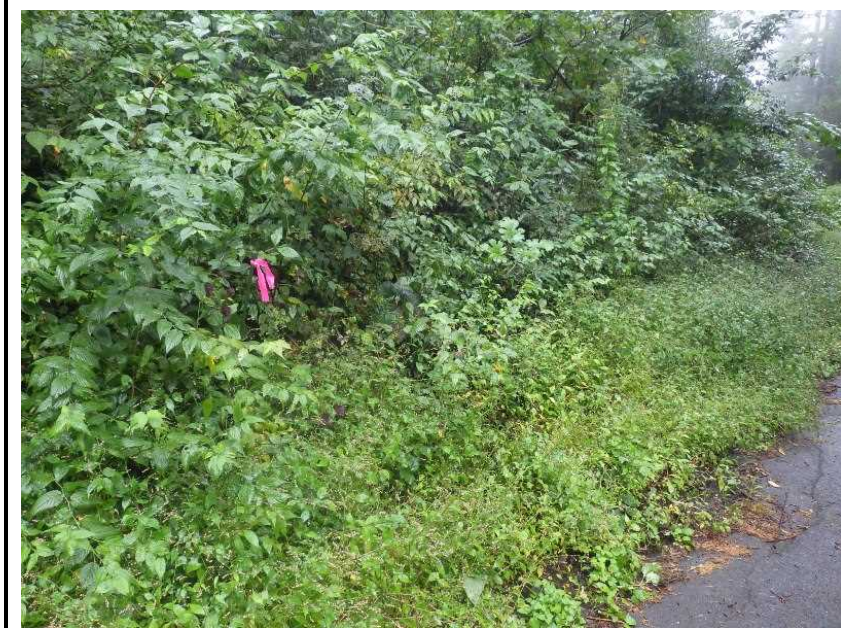
保全対象種	ヒトツボクロ
写真番号	ヒト-3
撮影日	平成 29 年 7 月 24 日

移植完了後の状況



保全対象種	ナガミノツルキケマン
写真番号	ナガ-1
撮影日	平成 29 年 9 月 7 日

対象事業実施区域付近に生育する  
個体



保全対象種	ナガミノツルキケマン
写真番号	ナガ-2
撮影日	平成 29 年 9 月 7 日

マーキング設置状況





保 全 対象種	フトボナギナタコウジュ
------------	-------------

写 真 番 号	フトー1
------------	------

撮影日	平成 29 年 7 月 26 日
-----	------------------

移植前の確認状況



保 全 対象種	フトボナギナタコウジュ
------------	-------------

写 真 番 号	フトー2
------------	------

撮影日	平成 29 年 7 月 26 日
-----	------------------

移植作業の状況



保 全 対象種	フトボナギナタコウジュ
------------	-------------

写 真 番 号	フトー3
------------	------

撮影日	平成 29 年 7 月 26 日
-----	------------------

移植完了後の状況

	保 全 対象種	クマタカAつがい
	写 真 番 号	クマA-1
	撮影日	平成 29 年 8 月 31 日
	クマタカAつがいのメス	
	保 全 対象種	クマタカAつがい
	写 真 番 号	クマA-2
	撮影日	平成 29 年 8 月 30 日
	クマタカAつがいのオス	
	保 全 対象種	クマタカDつがい
	写 真 番 号	クマD-1
	撮影日	平成 29 年 8 月 30 日
	クマタカDつがいのメス	

	保 全 対象種	クマタカDつがい
	写 真 番 号	クマD-2
	撮影日	平成 29 年 8 月 29 日
	クマタカDつがいのオス	
	保 全 対象種	クマタカEつがい
	写 真 番 号	クマE-1
	撮影日	平成 29 年 7 月 21 日
	クマタカEつがいの繁殖巣 巣内に雛 1 個体を確認	
	保 全 対象種	クマタカEつがい
	写 真 番 号	クマE-2
	撮影日	平成 29 年 8 月 30 日
	クマタカEつがいの巣立ち幼鳥	

	保 全 対象種	クマタカFつがい
	写 真 番 号	クマF-1
	撮影日	平成 29 年 7 月 22 日
	クマタカFつがいの巣立ち幼鳥	
	保 全 対象種	クマタカFつがい
	写 真 番 号	クマF-2
	撮影日	平成 29 年 8 月 30 日
	クマタカFつがいのオス	
	保 全 対象種	クマタカFつがい
	写 真 番 号	クマF-3
	撮影日	平成 29 年 8 月 31 日
	クマタカFつがいの巣立ち幼鳥	



保 全  
対象種 クマタカGつがい

写 真  
番 号 クマG-1

撮影日 平成 29 年 7 月 21 日

クマタカGつがいの繁殖巣

巣内に雛 1 個体を確認



保 全  
対象種 クマタカGつがい

写 真  
番 号 クマG-2

撮影日 平成 29 年 8 月 28 日

クマタカGつがいのオス



保 全  
対象種 オオタカBつがい

写 真  
番 号 オオB-1

撮影日 平成 29 年 7 月 4 日

オオタカBつがいの繁殖巣

巣内に雛 3 個体を確認

	保 全 対象種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチー1
	撮影日	平成 29 年 7 月 18 日
	確認されたハチクマのメス	
	保 全 対象種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチー2
	撮影日	平成 29 年 7 月 18 日
	確認されたハチクマのオス  調査対象地域外へ餌を運んだ	
	保 全 対象種	ゴマシジミ 本州中部亜種
	写 真 番 号	ゴマー1
	撮影日	平成 29 年 8 月 14 日
	確認されたゴマシジミ本州中部亜種	



保 全  
対象種

ゴマシジミ  
本州中部亜種

写 真  
番 号

ゴマー2

撮影日

平成 29 年 7 月 30 日

確認されたワレモコウ



保 全  
対象種

ゴマシジミ  
本州中部亜種

写 真  
番 号

ゴマー3

撮影日

平成 29 年 9 月 5 日

ワレモコウ移植作業の状況



保 全  
対象種

ゴマシジミ  
本州中部亜種

写 真  
番 号

ゴマー4

撮影日

平成 29 年 9 月 5 日

ハラシケアリ移植作業の状況



保 全  
対象種

ゴマシジミ  
本州中部亜種

写 真  
番 号

ゴマー5

撮影日

平成 29 年 8 月 28 日

ワレモコウ及びハラクシケアリ移植地の状況（移植前）



保 全  
対象種

ゴマシジミ  
本州中部亜種

写 真  
番 号

ゴマー6

撮影日

平成 29 年 9 月 5 日

ワレモコウ及びハラクシケアリ移植地の状況（移植後）



保 全  
対象種

ヒョウモンチョウ  
本州中部亜種

写 真  
番 号

ヒョー1

撮影日

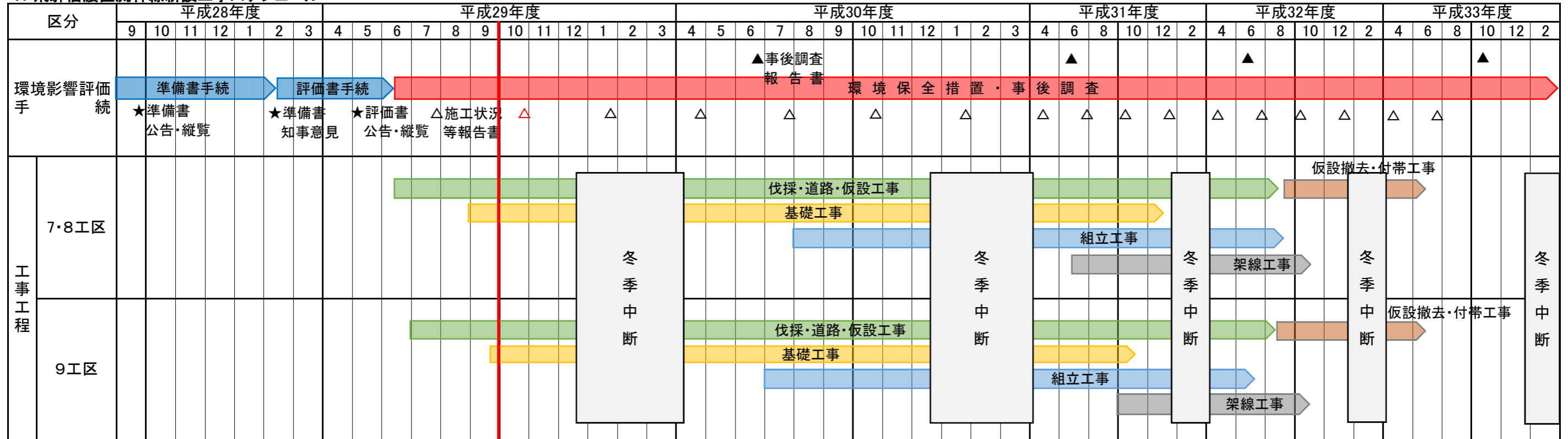
平成 29 年 8 月 14 日

確認されたヒョウモンチョウ本州中部亜種



施工状況等報告書添付資料「対象事業の実施状況一覧表」

1. 飛騨信濃直流幹線新設工事スケジュール

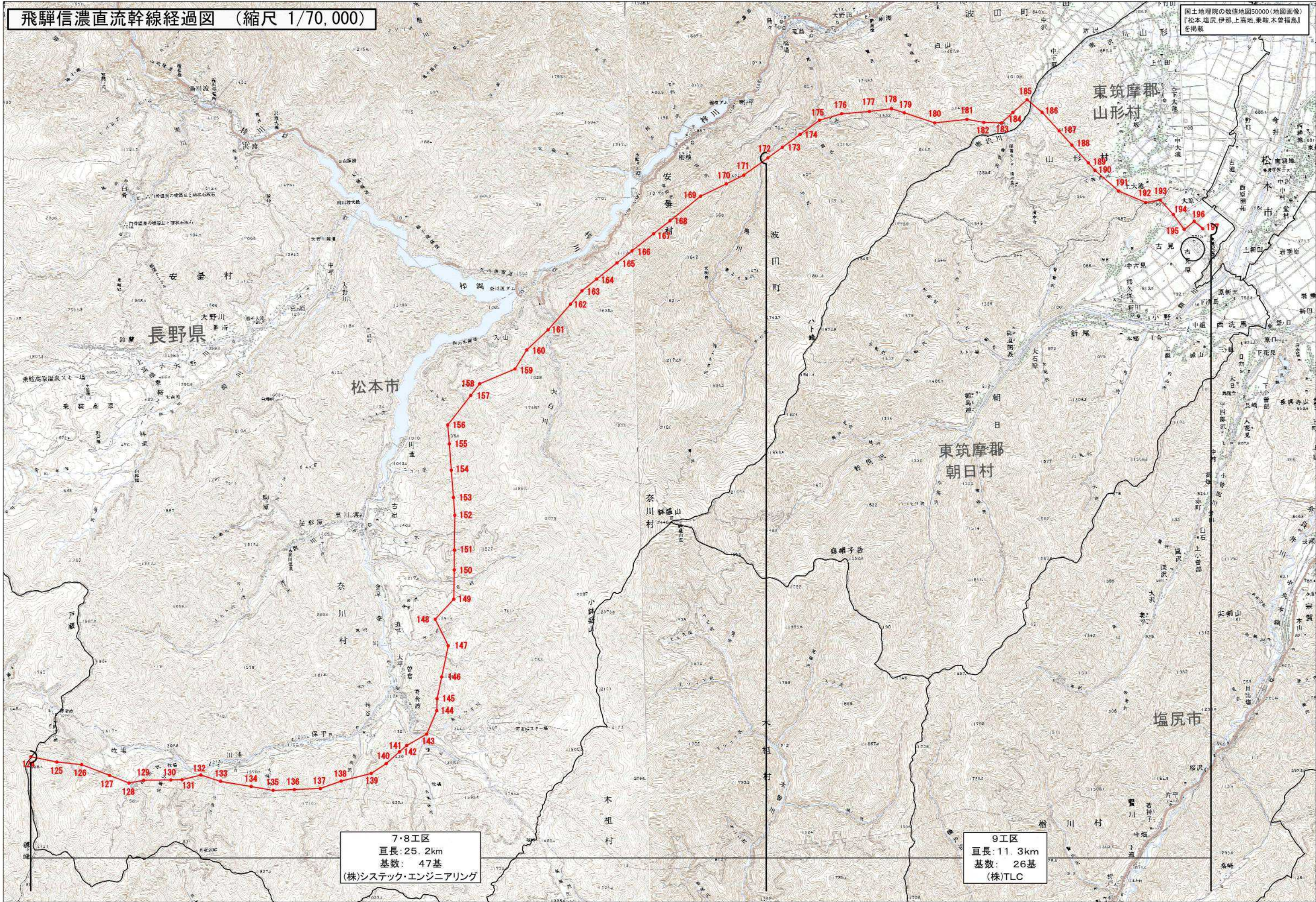


2. 対象事業の実施状況一覧

年 度	平成29年度				平成30年度											
	回数	第1回報告	第2回報告	第3回報告	第4回報告	第5回報告	第6回報告	第7回報告	第8回報告							
報告対象期	4月～6月		7月～9月		10月～12月		1月～3月		4月～6月		7月～9月		10月～12月		10月～12月	
実施状況	平成29年6月12日、伐採工事に着手した。同日付で「対象事業着手報告書」を県に提出した。		鉄塔敷地及び工事用地内の伐採工事及び仮設工事、資機材運搬のための道路工事及びモノレールの仮設工事を実施中である。													
※詳細は別紙「工事実施箇所一覧表」による	[工事状況] ・7・8工区 工事中 2基 ・9工区 工事中 0基		[工事状況] ・7・8工区 工事中 12基 ・9工区 工事中 8基													
年 度	平成31年度				平成32年度											
	回数	第9回報告	第10回報告	第11回報告	第12回報告	第13回報告	第14回報告	第15回報告	第16回報告							
報告対象期	4月～6月		7月～9月		10月～12月		1月～3月		4月～6月		7月～9月		10月～12月		1月～3月	
実施状況																
※詳細は別紙「工事実施箇所一覧表」による																

飛騨信濃直流幹線經過図 (縮尺 1/70,000)

国土院の数値地図5000(地図画像)『松本,塩尻,伊那,上高地,乗鞍,木曽福島』を掲載



7・8工区  
 亘長: 25.2km  
 基数: 47基  
 (株)システック・エンジニアリング

9工区  
 亘長: 11.3km  
 基数: 26基  
 (株)TLC

○:工事中 ●:工事完了

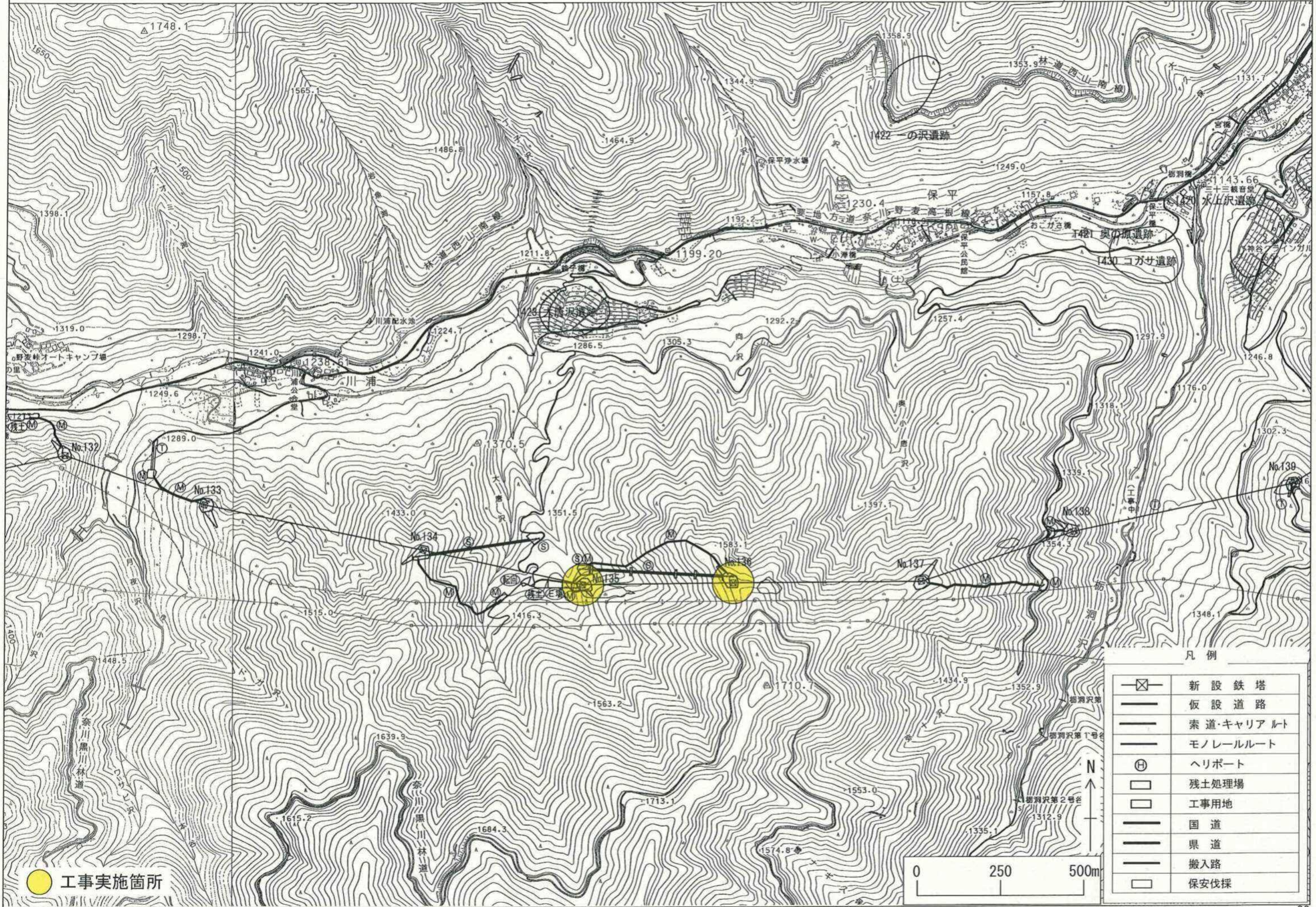
鉄塔番号	伐採工事	道路工事	仮設工事	基礎工事	組立工事	架線工事	仮設撤去	付帯工事	備考
125		—							
126						↑ ↓ ↑ ↓ ↑ ↓ ↑ ↓ ↑ ↓			
127		—							
128									
129									
130									
131									
132		—							
133									
134									
135	○								
136	○								
137									
138									
139	○	○	○						
140	○	○	○						
141	●	○	○						
142	○	—	○						
143	○	○							
144									
145									
146									
147									
148		—							
149									
150	○								
151									
152	○								
153									

○:工事中 ●:工事完了

鉄塔番号	伐採工事	道路工事	仮設工事	基礎工事	組立工事	架線工事	仮設撤去	付帯工事	備考
154									
155	○								
156									
157	○								
158	○					▼			
159						▲			
160									
161									
162									
163									
164									
165						▼			
166						▲			
167									
168									
169									
170									
171		—							
172		—				▼			

○:工事中 ●:工事完了

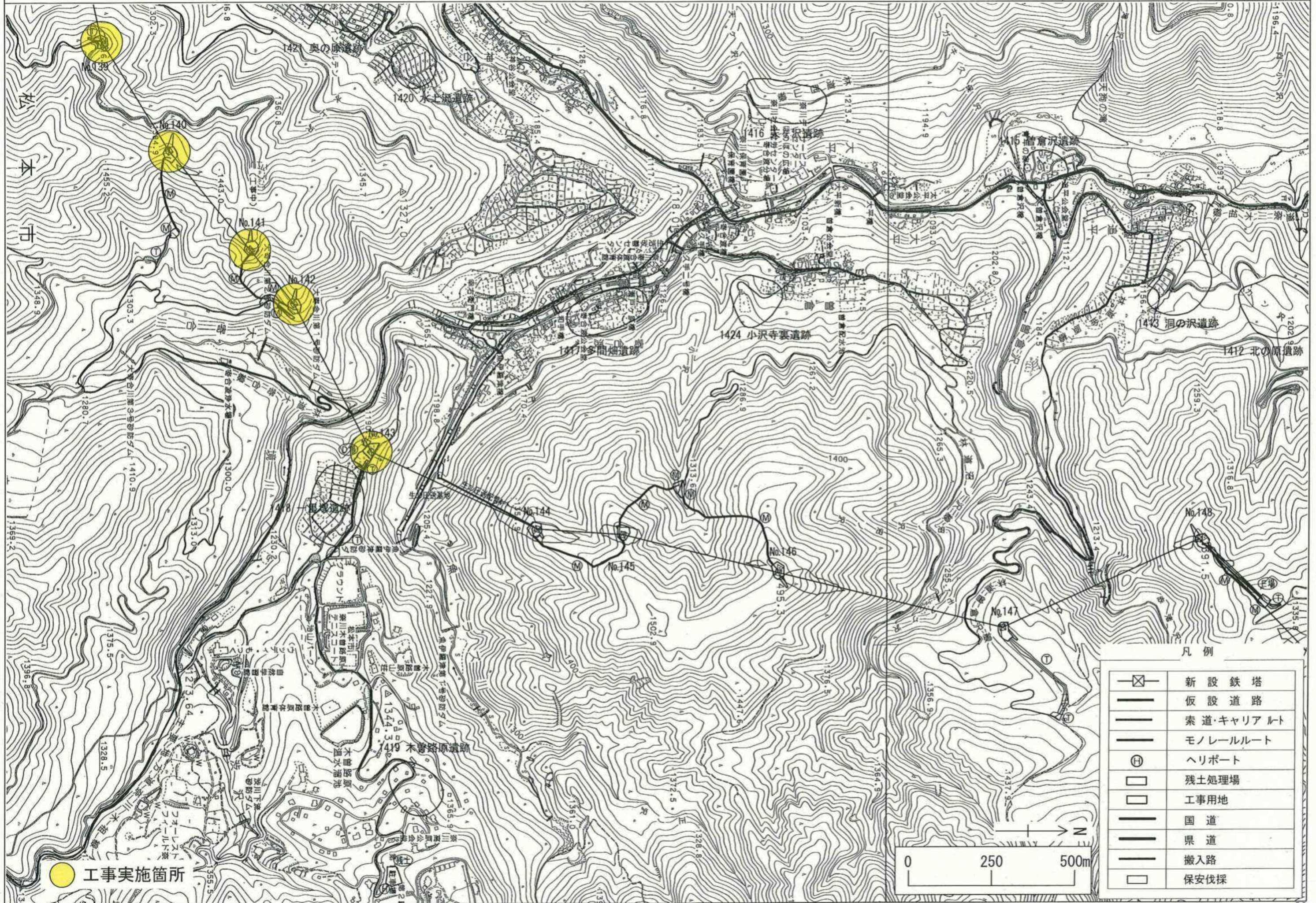
鉄塔番号	伐採工事	道路工事	仮設工事	基礎工事	組立工事	架線工事	仮設撤去	付帯工事	備考
172		○				↑ ↓			
173	○	○							
174		○							
175		○							
176	○	○	○						
177	○	—							
178	○	—							
179		—							
180		—							
181		—							
182		—							
183		—							
184									
185	○	—							
186									
187									
188									
189									
190		—							
191									
192									
193									
194		—							
195		—							
196		—							
197		—							

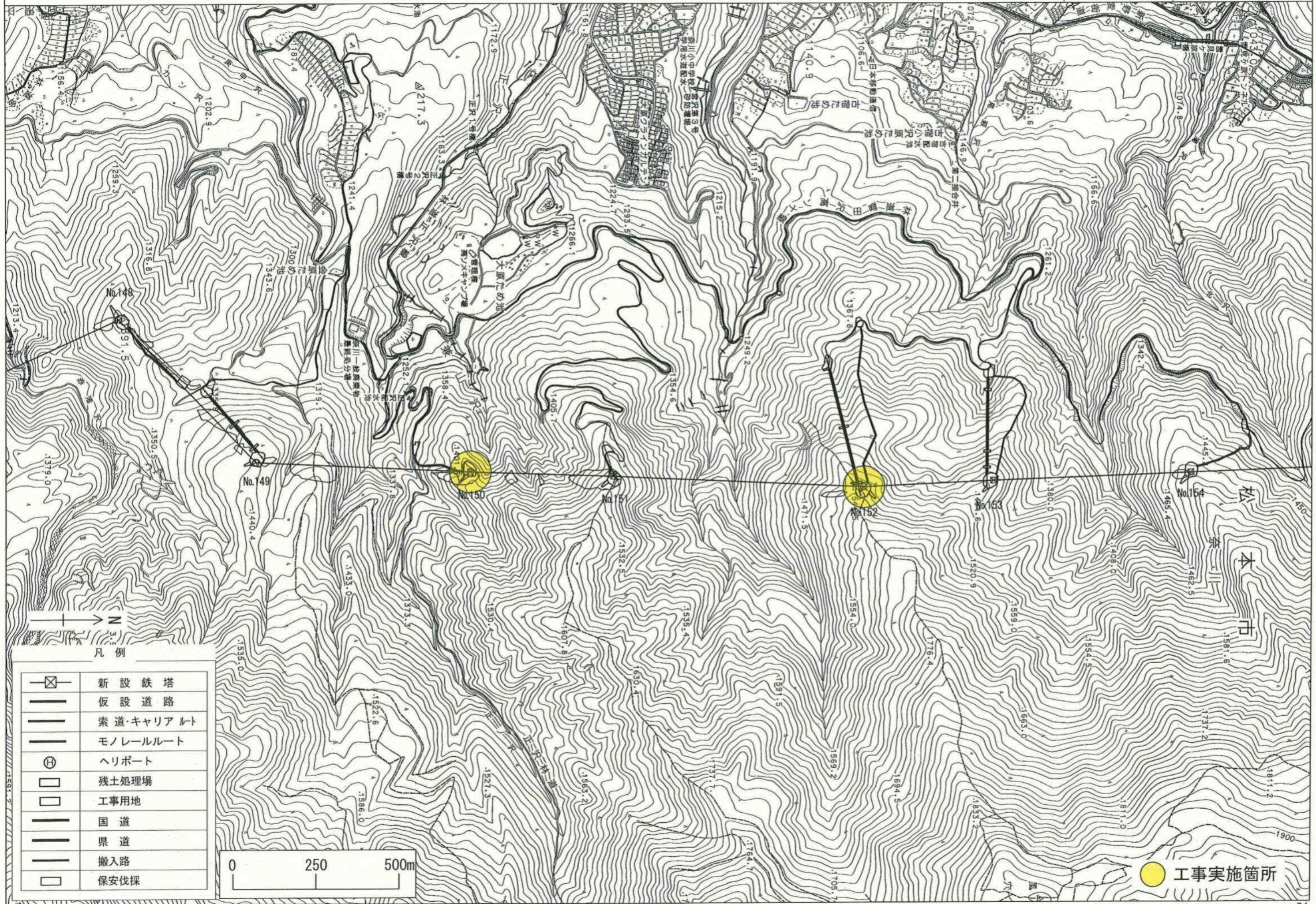


● 工事实施箇所

凡例

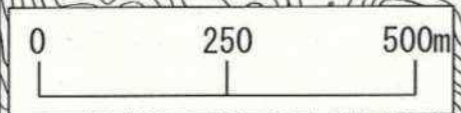
⊠	新設鉄塔
—	仮設道路
—	索道・キャリアート
—	モノレールルート
⊕	ヘリポート
□	残土処理場
□	工事用地
—	国道
—	県道
—	搬入路
□	保安伐採





凡例

	新設鉄塔
	仮設道路
	索道・キャリアルト
	モノレールルート
	ヘリポート
	残土処理場
	工事用地
	国道
	県道
	搬入路
	保安伐採



工事実施箇所



